

うだ いだにたけ 宇陀・井足岳に再挑戦、 3月11日

1月15日号(279号)で宇陀の伊那佐山から井足岳へ歩き、疲労困憊したことを書いた。そのリベンジと言うわけではないが、井足岳にもう一度登ってみようと思いたち、3月11日別のルートで再挑戦した。

快晴、キジとウグイスの声に送られて

近鉄大阪線榛原(はいばら)駅前を10時10分出発、南に歩いて宇陀市庁舎の南から宇陀川を渡り、さらに南下。宇太水分(みくまり)神社下社の森の西側の道を進み、次の信号で左折、案内板に従い畑の中を歩く。風は冷たいが、陽光は暖か、春耕を終えたばかりなのか、農地には掘り起こされた土が広がっている。

畑地にめぐらされた電柵は厳めしいが、その畑をカラスやムクドリが歩き回っている。キジの鳴き声、ウグイスのさえずりが遠くから響いてくる。

突然のキジの飛び立ちにびっくり

突然、路傍の藪の陰から大きな羽ばたき音をたてて、キジが飛び立ち、びっくり。キジは鳴きながら林の中に飛び込んだ。ゲーン、ゲーンと大きく強く聞こえるその鳴き声に「雉も鳴かずば撃たれまいに」のことわざを思いつつ歩く。

畑地と森の境にあるサクラは開花の早い種なのか満開で、メジロのつがいや蜜を吸いつつ飛び交い、鳴きかわしている。

石ゴロゴロの道だが道標はバッチリ

小さな墓地のそばを過ぎ、花をいっぱいつけたウメの木を左に見て登山口から山道にはいる。

スギ、ヒノキの林の中をゆっくり登る。石ゴロゴロの急登だが、要所要所に立派な道標があり、安心してゆっくり登る。

間伐の名残りなのか倒木が多く、古い倒木は苔とヒカゲノカズラで覆われているが、そこにヒノキの幼木が育っているのがある。これが倒木更新と呼ばれる物だろうか。

人工林を抜けると、展望が開けて、ベンチ代わりに丸太が置いてある。腰かけて軽食を摂る。西側眼下には集落と農地がひろがり、その背後に音羽三山(おとわさんざん)が、さらに遠くには金剛山が見えている。



↑畑地の中の道標(バックの三角形の山は大和富士の別名をもつ額井岳)

ソヨゴの赤い実

人工林と雑木林の間をしばらく登る。あたりにはソヨゴの木が多い。地表に落ちている赤い実も多分ソヨゴの物だろう。光沢のある真紅の実には黒い斑点を付けて、テントウムシに似ており、今にも動き出しそうだ。

岳山と雨乞い場

再び人工林の急登をのぼり、12時45分岳山着、標高536m。この山は雨乞い場が設けられている事から見て雨乞い信仰の対象とされたのだろう。読み方は「たけやま」だろうか。



春間近の感じだが、登山路には花が無い

小休止後、急な坂道を下って鞍部をしばらく歩き、最後の急登を登りきって13時10分井足岳山頂に到着。標高550m。此处にも花は見当たらない。登山口までの畑地では、路傍、畦、土手にオオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、タネツケバナなど、早春の花々が咲いていたが、登山路には全く花が無かった。登山路が主として針葉樹林下なのでやむを得ないか。季節を変えて再訪するでしょう。東にそびえる冠雪の高見山を見て下山。往路を辿り、14時45分榛原駅帰着。



とうぼうこうしん

倒木更新

多くの日本人を悩ます花粉症

私たちの周りには、春になると花粉症に悩む人が少なくない。症状のひどい人は、見るのが気の毒なくらいの状況になる。スギ、ヒノキはこの花粉症を引き起こす元凶のひとつなのだ。

膨大な数の花粉、同じく大量の実

これらの木は膨大な数の花粉を空中に放出し、これまた沢山の実を地上に散りまく。地上に落ちた種はササや下草に遮られて、陽光を浴びられないし、腐朽菌などで死滅させられるなど、無事発芽・成長するチャンスを奪われることが多い。

地表に比べると条件の良い倒木の上

それに比して、倒木の上は、木の倒壊時にササや下草が押し退けられて日当たりも良く、腐朽菌などの繁殖も少ない。また苔やヒカゲノカズラが湿度を提供するなどの好条件もある。

さらに倒木そのものが腐朽につれて、栄養分の供給源になることは大きな利点だろう。

自然の中での世代継承

こうして、古い世代の木が倒壊し、その倒木を土台にして新しい世代が育つ事を“倒木更新”と呼んでいる。自然のなかでの植物の世代継承の一つの在り方だ。

新山口駅の“垂直の庭”——花の季節への期待を抱かせる



秋吉台を訪れた一月中旬、新山口駅の南北通路を通った。

この通路100mに亘って、両側の壁に植物がビッシリと植えてあるのだ。

「垂直の庭」と名付けられているここには山口県に自生する140種の植物が植えられているという。

時節柄、ツワブキが数輪、黄色の花をみせていたし、ヤブコウジが赤い実をぶら下げて、ささやかな彩(いろどり)を添えていた。

四季折々の花や実を楽しみたい

春、夏、秋、のそれぞれで、季節の花や実、青葉黄葉、紅葉を観れるとは、思っただけで楽しくなる。

九州など旅行する時には、途中下車して楽しむこととしよう。

水やりなどお世話して下さる方々はご苦労され

ることと思うが、折角の試みをぜひ持続させてほしい。

不要になった登山用品の交換バザーにご協力ください

健生会友の会主催の「けんこう祭」が5月に奈良県産業会館などで開かれます。この祭りに国民救援会中和支部が上記のバザーを開きます。登山用品のご提供、バザーへの参加、ご協力ください。